

平成17年7月20日

新携帯パソコン「eNavit (イー・ナビット)」の開発・導入 ～モバイル通信でいつでもどこでもコンサルティング～

第一生命保険相互会社(社長 斎藤勝利)は、新携帯パソコン「eNavit (イー・ナビット)」を開発し、平成17年8月から全国約45,000名の生涯設計デザイナー(営業職員)に配付します。導入台数は約5万台、開発費用まで含めた投資額は約100億円となります。

近年、生命保険商品の多様化にともない、お客さまのコンサルティングに対するニーズは高まっています。また、ライフスタイルの変化による日中の在宅率の低下、個人情報保護法の施行による企業の情報管理の強化など、保険営業を取り巻く環境は大きく変化しています。この環境変化に対応するために、「eNavit (イー・ナビット)」は次の特長を備えています。

【eNavit (イー・ナビット) のおもな特長】

プレゼンテーション機能の向上 ～Easy, Effective (簡単で効果的)～

トップセールスのコンサルティング手法を標準化します。お客さまに保険の必要性を理解いただきながら、効果的に保険商品の提案をおこなうことができるソフトを開発・搭載しています。お客さまに画面を見ていただくことも意識し、視覚にも訴えるプレゼンテーションを実現しました。

モバイル通信機能の導入 ～Evolutional (進化した営業スタイル)～

データ通信カードを搭載しています。外出先からでも本社センターコンピュータへアクセスし、事務所内とほぼ同レベルの事務処理(照会・試算、設計書作成など)が可能となります。なお、モバイル通信には株式会社NTTドコモのFOMA[®]を利用します。 * 「FOMA/フォーマ」はNTTドコモの登録商標です。

コミュニケーション手段の多様化 ～Email (電子メールの活用)～

生涯設計デザイナー(営業職員)一人ひとりがメールアドレスを持ちます。eメールによるお客さまとの連絡やインターネットホームページの閲覧も可能となります。モバイル通信やeメールによりお客さまとの新しいコミュニケーションスタイルを実現します。

セキュリティの向上 ～Encouraging (万全のセキュリティ)～

センターサーバーにお客さま情報を集約することで、「eNavit (イー・ナビット)」にはお客さま情報を保持しません。また、パソコン内データの暗号化やパソコンキー(USBキー)の導入により本人認証の更なる強化を図るとともに、利用状況の監視もおこないます。さらに、外部記憶媒体の接続不可等の対応によりセキュリティの強化を図っています。

当社では、「eNavit (イー・ナビット)」を活用し、コミュニケーションとコンサルティングの強化を図り、お客さま満足の向上に努めてまいります。

【eNavit (イー・ナビット) のスペック】

メーカー	(株)東芝製
サイズ	268 × 230 × 29 mm
重量	約1,310 g
画面	12.1型TFTカラー液晶 1,024 × 768ドット表示
CPU	Pentium M 1.0GHz
メモリ	512MB
ハードディスク	40GB
入力方法	ペンタッチ、キーボード、マウス
バッテリー稼働時間 (JEITA測定法 1.0)	約5時間
その他	LAN: 1ポート USB: 3ポート PCカードスロット: 1スロット(Type x1)

【次世代システム化計画 (WISE計画) について】

当社では進化するIT技術の一層の活用とセキュリティの強化を目的にすべての業務を新システムに順次移行させる「次世代システム化計画 (通称: WISE計画)」を進めています。この「eNavit (イー・ナビット)」の導入もこの計画のひとつとして開発を進めてまいりました。

「WISE計画」では平成18年9月までにすべての業務を新システムに順次移行させる予定です。本社・支社および全国約2000ヶ所の営業拠点のパソコン端末を入れ替え、ブロードバンド (高速大容量) 通信回線で結びます。あわせて全国に分散して設置しているサーバーを免震構造である府中情報センターに集中・集約させることによって、システム基盤の統一とセキュリティの強化を図ります。これらのシステム基盤の統合やサーバーの集約によって開発・保守費用の削減も可能となります。

以上